

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 004	提案機関名 農業振興課
要望問題名 県固有ブランド農産物、県産農産物の特定方法の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 湘南ゴールドや津久井在来大豆など、他種の混在、表示等の誤りがあっても判定が困難な状況となっている。また、産地についても偽装表示を看破することは困難を極める。 県産ブランドや産地保護のため、これらを短時間に特定できる手法の開発を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	野菜作物研究部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 農作物における遺伝子解析技術の開発			
対応の内容等 農作物の品種を比較的簡便に識別するためにDNAマーカーの開発が進められております。津久井在来についてはこれまでに県内で栽培されている主要な系統とその他の品種・系統を判別できる手法を開発しております。今後は津久井在来の標準系統を選定し、DNAマーカーの適用性について調べる予定です。 柑橘については品種判別法に関する情報を収集してまいります。			
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			